

秋北バス株式会社（秋田県大館市）

マイカーからバス・徒歩への移動手段の転換を促進する「バス&ウォーク事業」を自治体等と連携して実施。また、バイオディーゼルの使用によるバスの運行、エコロジー回数券の販売等の環境保全活動に積極的に取り組んでいる。

（取組みの概要）

バス&ウォークとは？

■バスと徒歩を併用して健康管理と環境を考える「**バス&ウォーク事業**」(※)を自治体等と連携して**実施**。

※「バス&ウォーク事業」

- ①バス停に、徒歩でのカロリー消費量とマイカー・バスでのCO2排出量を表示し、徒歩やバスを利用することによる効用を考えてもらう取り組み。
- ②観光スポットや温泉、グルメ等地元商店等の紹介とそれらを効率的に周遊するためのモデルコースを含めた、バス停マップの作成。等

■**廃食用油をリサイクルしてつくるバイオディーゼルの燃料とするコミュニティバスを運行。**



バイオディーゼルバスの運行

エコロジー回数券の販売

バス停マップ

■**エコロジー回数券の販売により、回数券の金額の20%を東日本大震災の被災地の森林整備事業をはじめとした環境貢献活動に使用されるカーボンオフセット事業を実施。**

カーボン・オフセット事業
カーボン・オフセットとは、世界の温暖化防止に貢献するため、自国で削減できないCO2を海外の森林整備事業や環境貢献活動で削減されたCO2を購入し、自国のCO2削減に活用することです。

秋北バスは新たに4月18日木より「エコロジー回数券」を販売し環境貢献します

1,000円・3,000円のカーボン・オフセット料金を国庫費を納入した上で、譲渡の一部がカーボン・オフセット料として環境貢献活動へ使われます。譲渡金の発行も可能です。お問い合わせは下記までご連絡ください。

バス&ウォークって何だろう？

バス&ウォークの応援団

バス&ウォークのおすすめ

クルマはとても便利なものです。行きたい所へすぐに移動できます。けれど便利な分、燃料を使うことでCO2を排出して環境に負荷をかけるのも事実。

だからといって、クルマに乗ることを否定するわけではありません。時には「バス」を使ったり、楽しく歩いてみませんか。これが「バス&ウォーク」運動です。

バス&ウォークの応援団

- ビースト
- しゅうゆき(おゆきん)
- ちよびと五五五
- ほがたさい
- 宮城道雄(おみや)
- 大館博士(おおの)
- エコドライブが得意
- エコドライブが得意

～自分と地球の健康を考えよう～

秋北バスのバス停には、「バス&ウォーク」のパロメーターが表示されます。

【健康を考えるパロメーター】

- ◆自分の健康……歩くことによる消費カロリー
- ◆地球の健康……バスとクルマのCO2排出量の差

次のバス停まで歩いた時の「消費カロリー」と「クルマとバスのCO2排出量」が記載されます。

バス停を5区間歩いて温泉につかり、帰りにバスに乗って帰る。自分と地球の健康にどれだけ貢献できたか……考えると楽しくなりますよね！

コースに要する時間: 4分

コースの距離: 約3.4km

消費できるカロリー: 102.1kcal

このコースで削減できる二酸化炭素の量

各モデルコースはバスを使う部分と歩く部分かわかりやすく記載されています。

コース内の観光スポット観光スポットの詳細はマップ内別エリアにて紹介されています。

バス&ウォークマップは見やすく楽しいバスを利用した観光ガイド！みんなで楽しくバス&ウォークをはじめよう！

飛鳥交通株式会社（東京都新宿区）

タクシー事業者として全国で初めてグリーン経営認証を取得。その後全事業所で取得し、平成26年4月に認証取得10年の永年登録表彰を受賞した。また、社内サマーエコドライブコンテストでは、2%強の燃費向上を達成した。

（取組みの概要）

グリーン経営推進委員会

■平成15年に、「グリーン経営に関する基本理念及び基本方針」を定め、「グリーン経営推進委員会」を立ち上げ、グリーン経営の全社的な取組みを開始。

■平成16年に、タクシー事業者として全国で初めてグリーン経営認証（※）を取得。同年に全事業所で取得し、以降、事業拡大を進める中、新規事業所でも取得。

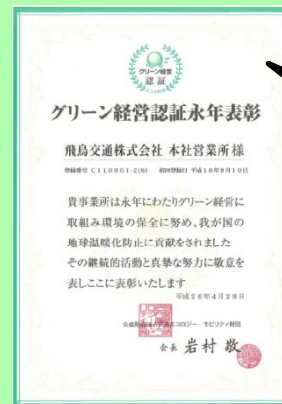
※グリーン経営認証とは
（公財）交通エコロジーモビリティ財団が、環境に配慮した一定レベル以上の取組みを行っている事業者を審査の上、認証・登録するもの。

■平成26年に、認証取得10年継続事務所として、タクシー事業者として初の永年登録表彰を受賞。

■平成25年7～9月に、社内サマーエコドライブコンテストを実施し、2%強の燃費を向上（LPG91,000Lの燃料を削減）した。また、エコドライブ改善率上位の車両整備員と乗務員を表彰した。



認証ステッカー



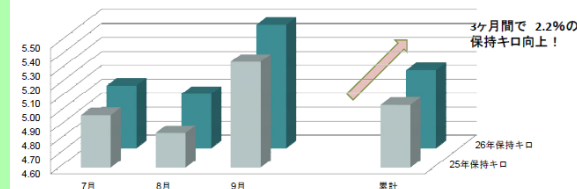
10年永年登録表彰

サマーエコドライブコンテストの効果

	7月	8月	9月	累計
25年				
推定総走行距離	7,769,778	7,439,628	7,323,141	22,532,547
LPG使用量	1,560,779	1,534,246	1,366,116	4,461,141
25年保持キロ	4.98	4.85	5.36	5.05
26年				
推定総走行距離	7,431,228	7,194,434	6,901,416	21,527,078
LPG使用量	1,471,264	1,441,392	1,258,403	4,171,059
26年保持キロ	5.05	4.99	5.48	5.16

24年と同程度の保持キロであったと想定した際のLPG使用量は 4262071Lと考えられ、実際の使用量との差、約91,000Lの圧縮効果がみられます。

（LPG価格を80円とした際の金額的效果は、728万円）



京福電気鉄道株式会社・ヤマト運輸株式会社

(京都府京都市・東京都中央区)

京都嵐山地域周辺における宅配便の集配作業において、路面電車とリヤカー付き電動自転車
を利用し、集配車両を減車することによって、CO2排出量を約30%削減した。

(取り組みの概要)

■ヤマト運輸の物流ターミナルから営業所へ大型トラックで宅配便を輸送し、そこから2tトラックなどに積み替え配達していたものを変更し、**路面電車（京福電鉄嵐山線）の車両を1両貸し切り、集配用コンテナを搭載した台車ごと電車に積み込んで輸送。**

■各駅で台車を降ろし、そのままリヤカー付き電動自転車・台車・電動自動車に荷物を移して、集配。

■トラック車両の減車により、**CO2排出量を実施前との比較で約30%削減。**街中での駐停車がなくなり、**渋滞を緩和。**

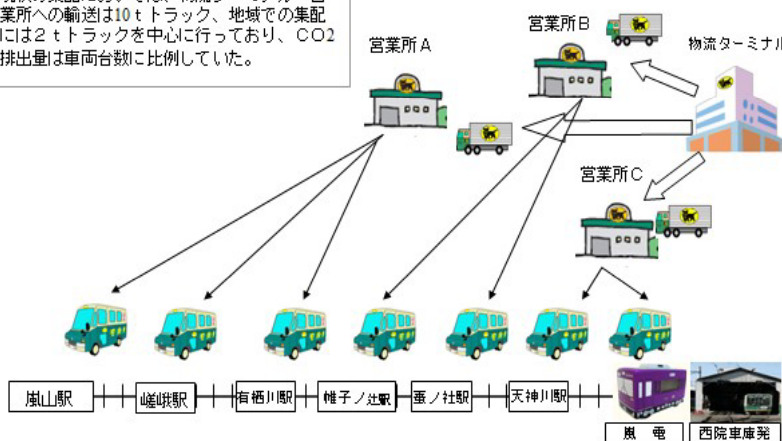


路面電車を利用したモーダルシフト



嵐電沿線におけるCO2削減策の実施前

現状の集配においては、物流ターミナル～営業所への輸送は10tトラック、地域での集配には2tトラックを中心に行っており、CO2排出量は車両台数に比例していた。



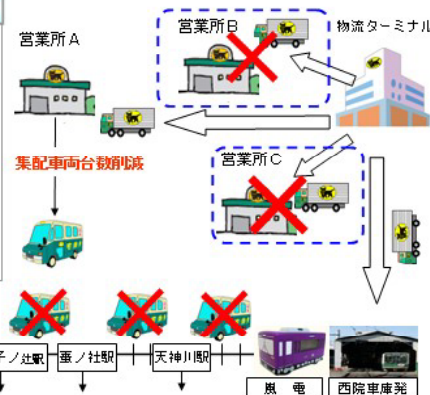
取り組み前

取り組み後

嵐電と宅急便の融合によるエコ

住宅街を走る嵐電で宅急便の輸送を行うことで、営業所への大型トラックでの幹線輸送を無くし路面電車を利用したモーダルシフトにすることで車両の台数削減が可能となる。その結果、台数と比例しCO2の削減・交通事故削減となる。

ヤマト運輸が嵐電の電車を貸し切って、社員が集配用台車ごと乗車し、各駅に出勤した社員が台車を受け取り集配を行う。集配は全てエコ集配（電動自転車・リヤカー付き電動自転車・台車）で行う為、CO2排出量は大幅に削減された。



西院車庫にて貸切電車へ荷物積み込み